

## 1. 定量的指標

- 事業実施前後の同期間の数値を比較し、運営連絡会等で事業効果を評価する。
- ア～ウについては、救急外来を受診した65歳以上の患者を対象として分析（本事業の対象患者に同じ）。

	項目	使用データ	
		救急受入病院	支援病院
ア	救急受入病院から支援病院へ転院した患者数	○	
イ	平均在院日数	○	
ウ	転院を打診（オファー）してから転院までに要した平均日数	○	
エ	救急受入病院から支援病院へ転院し、その後容体悪化等により元の救急受入病院での受入が行われた患者の数と、それぞれの患者の救急受入病院での在院日数	○	
オ	救急患者受入件数	○	
カ	病床稼働率	○	○
キ	病床回転率（1床あたりの利用患者数）	○	
ク	応需率	(消防局データ)	
ケ	搬送困難事案数	(消防局データ)	

## 2. 定性的指標

- モデル事業実施期間終了後に、アンケートを実施し、定性的な評価についても確認する。
  - ・ 転院調整システムの利用によって、転院調整に係る負担は軽減されましたか
  - ・ 事業を通じて、[ 救急受入病院・支援病院 ]との連携が深まりましたか
  - ・ 転院に係る院内の手続き、意識に変化はありましたか など

## 3. 参加病院への依頼事項

- 事業効果を評価するにあたり、救急受入病院、支援病院ともにア～キのうち、○が付いた数値について、**前年同期間（R5.9.1～R6.3.31）の月別の数値**と、**モデル事業実施期間内（R6.9.1～R7.3.31）の月別の数値**のご提供にご協力をお願いします。